



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

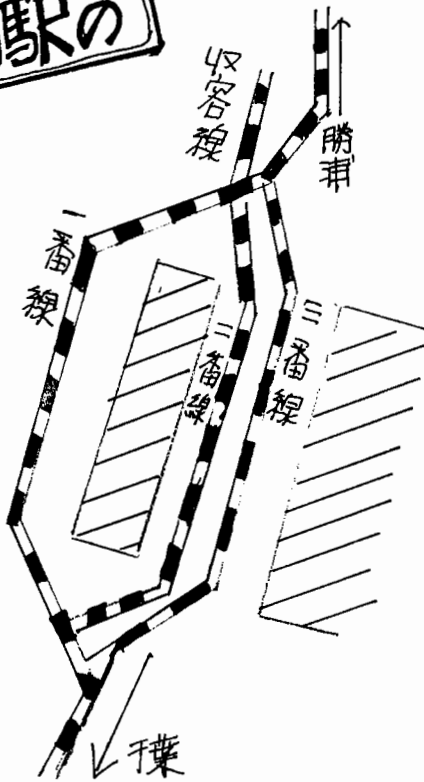
〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.2.6 No. 3534

分併作業の合理化は死につながる

駅の窓口



二番線・三番線での分併・誘導作業中
に對向列車が入ってくればいくらも線間
がない状況のなかで、はね飛ばされてし
まう可能性がある。
今までは、駅との協同作業であったた
め、お互いに声をかけ列車監視を行いな
がら作業ができた。しかし、今後は死傷
事故にもつながりかねない危険作業が強
制されるのだ。
団交では、この点に関して当局の見解
を糾した。

上総一宮駅

しかし、最大の問題は、分併・誘導
業務をひとり作業としてしまうことによ
って列車監視ができなくなるということ
だ。構内図のとおり、

列車監視もおかす 作業を強制

一月二十二日、九二・三ダイ改に伴う合
理化攻撃の一環として提案された一の宮
駅における分割併合作業について団交が
行われた。これは、今まで駅が行って
いた分併作業の誘導合図を廃止し、車両検
査係ひとりで行なわせるというものであ
る。
この提案は、駅構内に駅側が一切関与
しないという指揮命令系統の無視など安
全上重大な問題をはらむ作業である。
駅の要員合理化のためにのみ安全を解
体しようというのである。

回答に窮した

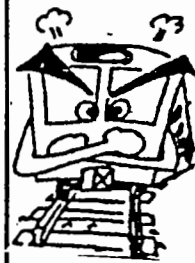
にもかかわらず

最後はひたすら直り

団交のなかではじめのうちは、当局も
「それは非常にむずかしい問題」「そう
いう状況がつくりだされることは事実」
「しかし、今まで二人いたから傷害事故
が起きなかつたとは言えない」等、答え
に窮してしまいいんどロモドロであった。
要するに、合理化に急なあまり危険作業
となることすら我々が指摘するまで気が
つきもしなかつたのである。

荒廃の極致 これが千葉運転区当局だ

「日刊」三五二八号で既報のとおり、
一月二〇日、千葉支社は千葉運転区市東
君に對し出勤停止二五日の不当極まりな
い処分攻撃を行った。
しかし、その後、まさに異常としか言
いようのない事態が明らかとなった。千
葉運転区当局は処分通知を行った翌日、
市東君の通勤駅である御宿駅に對し「も
しこういう人物がパスで乗車したらつか
まえてくれ」と電話しているのだ。
出勤停止中のパスの使用は禁止されて
いる。そして、この間の例を見ると「パ
スの不正使用」には解雇処分が出されて
いる。
つまり、千葉運転区当局は何とか市東
君をクビにできないものかとつけ狙った
のだ。
いくら当局とはいえ普通なら「出停
期間中はパスだけは絶対に使わないよう
に注意しなさい、取りかえしのつかないこ
とになるから」と本人に説明するのが当
たり前である。それが「もしパスで乗車
したらつかまえる」と最寄駅に電話する
現場長とはいったい何なのか!!
まさに人間荒廃の極致と言うほかはな
い。



しかし、議論をするうちに当初シンドロ
モドロだったことを否定し、今度は「危
険作業だとは考えていない。はじめから
そう回答していた。」とひらきなおりは
じめたのだ。
そして、思いついたように何と「對向
列車がきたら構内放送をすれば問題ない
としたのである。作業に集中していると
きに構内放送など耳に入るものではない
われわれは、作業が生命の危険につな
がることなど頭の片隅にもおかないで合
理化を強行し、しかも団交では思い付き
によってひらきなおりという千葉支社の
態度を断じて許すことはできない。